

第10回関東同窓会ゴルフコンペ結果報告

現執行部としては最後となる第10回ゴルフコンペは、千葉県野田市の名門コース、千葉カントリークラブ川間コースで、4月2日（水）に開催された。

初出場4名を含む28名（7組）がエントリー、桜が満開で絶好のゴルフ日和のもと、一日プレイを楽しんだ。

結果は、毎回上位入賞する実力者、松木強さん（60期）が、ベスグロで優勝。主な順位は以下の通り。

優勝	松木 強	（60期）	44、40=84	ハンディ12.0	ネット72.0
準優勝	飯島慶三郎	（55期）	42、42=84	ハンディ10.8	ネット73.2
3位	丸山暢久	（65期）	47、42=89	ハンディ14.4	ネット74.6
BB	河西秀夫	（54期）	52、50=102	ハンディ19.2	ネット82.8

ベスグロは、飯島、松木さんが84の同スコアで分け合う。

優勝の松木さんの話『私はこのコンペ3回目の参加です。ゴルフには多少思いもあり参加したのですが、諸先輩をはじめ皆さんのマナー・立居振る舞いが洗練されており、さすが六文銭の上田高校OBと感じ入った次第。この度は、60期の同期4人で気楽に回れたのが勝因と思います。幹事さんも大変お疲れ様。改めて感謝します』

また、今回は、過去5回から9回の優勝者による、優勝カップ取りきり戦も実施。資格者は、5回飯島（55）、6回笠井徳爾（61）、7回神津勝重（54、欠場）、8回丸山（65）、9回瀧沢政視（65）の各氏で、今回出場は4名。

熾烈な戦いを制したのは、準優勝にも入ったベテラン飯島さんで、見事、前田同窓会会長寄贈のカップを獲得した。

飯島さんの話『第10回という節目の大会のカップ取りきり戦に勝つことができ、最高の喜びです。同伴競技者、瀧沢、丸山、池田さん（いずれも65期）と満開の桜の下で楽しくプレイでき感謝しています。幹事の皆さん、これからもコンペの運営よろしくお願いします。参加の皆様、ありがとうございました』

そして、今回の大トピックスは、10回目にして、初めてのホールインワンが出たことです。

達成したのは、花房伸吉さん（54期）。東コース7番（155ヤード）のことでした。私（幹事の上原）も同組で目撃。フェードのかかったボールがスルスルとカップに寄っていったと思ったら、地上から消えてしまいました。

花房さんの話『ホールインワンは初めての体験です。午前中の出来事で、午後からのプレイは乱れてしまいました。入ったか半信半疑でグリーンに行ってみると、カップインしていました。キャディ無しのプレイなので保険は出ないと覚悟していましたが、千葉CCは、コンペでもあるので証明書を発行してくれました。皆さん有難うございました』

プレイ終了後、いつもどおり表彰式と懇親会が和気藹々のなか行われた。

相田俊一さん（48期）からは、沢山の賞品を寄贈いただき、参加者一同感謝。

最後に、いつまでも健康で楽しくゴルフの出来ることを祈念して、カンパを実施。

当日会費残金とあわせ、3万5千円を、ゴルフ同好会より関東同窓会に寄付することにした。

最後に、当日参加者の皆さんにアンケートを実施し、当コンペの今後の運営等につき意見を集約した。結果は下記のとおりです。

「関東同窓会ゴルフコンペは、今後も、同窓生の懇親の場として続けて欲しい。」という声が強いところから、継続する方向で次期執行部に引き継ぐ予定。

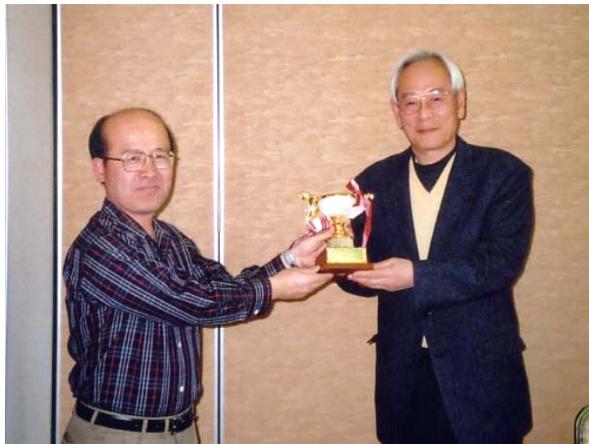
ゴルフ同好会幹事 上原 昇 （65期）



優勝した松木さん



第10回上田高校関東同窓会コンペ（千葉CC川間コース） 08. 4. 2



優勝カップ取り切り戦勝利の飯島さん(右)



ホールインしたボールを取り上げる花房さん(左)

今回、第10回コンペ参加の28名にお聞きしました。各設問ごとの答え集計と意見は以下の通りです。

まとめとして、本コンペは参加者の強い希望により今後も続けていきたいと思えます。開催場所、費用、競技方式等つきましては、出来るだけ皆さんの意に沿うよう努力します。一番の課題は、若い世代の参加が少ないことです。同窓会の公式行事として、今後機会あるごとに呼びかけをしていきたいと思えます。

同窓生各位におかれましては、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

(あなたのお考えに近い答えに○を、n=28、⇒は結果コメントです。)

1. 今回参加したきっかけ(動機)について

- a. これまで参加しているから[26] b. 友人に勧められたから[2]

⇒今回初出場4名の方は、友人に勧められ参加したことでしょう。

それ以外は、常連の方が多く、本コンペを楽しみにしているようです。

2. 本コンペを、今後も続けるべきかどうかについて

- a. 今後も続けるべき[26] b. どちらでも[2] c. 止めるべき[0]

それぞれ理由は (①同窓の懇親を深める、輪を広げる ②各世代との情報交換、
③総会以外の遊びの場が必要 ④楽しい)

⇒b.どちらでもの2名を除き、全員が今後続けるべきという意見でした。

参加している人に聞いているので当然の結果ですが、協力するから続行すべしという声と受け取りました。

3. コンペの場所について

(第6, 8回は藤代 GC、7.9回は取手国際 GC、いずれも茨城県取手市で開催)

- a. これまでで特に問題はない [23]

- b. 別方面での開催を希望 [5] (具体的に：埼玉、神奈川、都内を希望)

⇒これも、参加している人に聞いているので問題はなさそうです。

今回遠くて出られない人の声を吸い上げられるかが課題です。

埼玉は別にして、神奈川、東京での開催はなかなか難しいのが現実です。

4. 会費、プレイ費について(これまで、会費4千円、プレイ費1万5千程度で運営)

- a. これまでで問題ない[23]

- b. 高すぎる[5] (希望は：昼食込みで15千円／全部で15千円／プレイ代13千円／
年金生活なので出来るだけ安価で)

⇒現在の運営方式、一定レベル以上のゴルフ場の選定を前提にすると、

これ以下の費用では難しいです。

より質素な運営を心がけるとともに、不便で多少レベルが落ちても安価なプレイ費の場所を選定するかを検討します。

同窓生諸氏のなかで、良いコースをご存知の方がいたら、幹事まで紹介ください。

5. 開催時期等について

(これまで、春(3月末から4月初)と秋(10月末から11月初)の平日開催)

- a. これまでで良い[28] b. 平日は出にくいので休日に[0]

⇒年2回、春秋、平日開催は支持されました。これまで通り東京上田会コンペ等と重ならないよう配慮はいたします。

6. 競技方式について（これまで、ダブルペリアで順位決定）

- a. これまで通りが良い[20] b. 固定ハンディが良い（除く初出場）[6]
c. どちらでも[2]

⇒ダブルペリア方式は参加者が固定していないコンペには有効です。

本コンペもメンバーが相当固定化されてきましたので、一度固定ハンディで運営してみたいと考えています。優勝、準優勝、3位はハンディカットして、同じ人がいつも上位になるのを回避します。その際も、初出場者はダブルペリアで運用します。

7. 参加者数について（これまで、30名前後で開催）

- a. この程度が良い [22] b. もっと少人数で [0] c. もっと大勢で [6]

⇒今回も当初10組（40名）予約しましたが、7組（28名）のエントリーとなりました。

今後も、皆さんの協力の下、さらに参加者の輪が広がっていくことを期待したいと思います。（ただし規模的には10組が上限と考えています。）

8. 組み合わせについて（これまで同期ごと、出身地ごと、居住地ごと）

- a. 同期がよい[3] b. 違う期とがよい[4] c. どちらでも[21]
d. その他（具体的に：①あみだでも ②同期とそれ以外交互に）

⇒同期組み合わせのこだわりは少なく、異なった世代との交流、同窓会ならではの組み合わせを期待している人が多いようです。

9. あなたの期は同期コンペをやっていますか。（以下やっている方にお聞きします。）

- a. 同期コンペを優先する[7] b. 同期コンペと両方出たい[14]
c. 特に決めていない[5]

⇒前8の設問と関連しますが、ゴルフ愛好家は同級、同期、同窓を問わず、機会をみつけては楽しもうという姿勢が強いと感じます。

同期コンペ等予め日程が分かって、事前連絡いただければ、調整することは可能です。

10. その他、本コンペでお感じになっていることがありましたら、ご自由に

（①幹事ご苦労様 ②女性の参加も呼びかけて ③若い人が参加できる雰囲気）

⇒若い世代の参加が一番の課題と認識しています。いろんな場を通じてPRをしていきます。ご協力有難うございました。

幹事 上原 昇（65期）